

やまのうち通信

第166号

令和3年2月20日

山内自治振興センター
庄原市山内町 813-4
Tel・FAX (0824) 74-0451
✉ yamanouchi.jichi@gmail.com

柔軟性を持っているものは
いくら年をとっても若いものだ
—ユダヤのことわざ—

定住促進プロジェクト(空き家活用)だより

「山内にようこそ！！」

昨年10月、神戸から引っ越してこられた

翻訳家のマッケインさんご一家に山内の感想をお聞きしました。



景色がきれいで人が優しい、歴史も興味深いです。

学校が楽しい！

近くの公園(丘陵公園や七塚SAの遊具のあるところ、みよし公園など)も楽しい！

昨年10月に家族4人で山内に引っ越して来ました。

結婚当初は京都に住んでいましたが、子供が生まれてすぐ、仕事の都合で神戸市に引っ越すことになり、約9年ほど住んでいました。

引っ越しを考え始めてから、神戸市内を含め5つ目に見に来たのが山内のおうちでした。初めておうちを見に来た日、子どもたちはずっと家の周りでカエルを取って遊んでいました。元気なこどもたち2人がのびのび遊べそうだなと思ったことを覚えています。

また、おうちを見せていただいたときに案内してくださった売主さんや地域の方々が、引っ越しが決まってからも色々気にかけてくださり、わからないことがあると教えてくださるので、大きな不安もなく引っ越して来ることができました。こちらへ来てからも、近所の方がとても親切にしてくださるので本当にありがとうございます。

4月、近所に引っ越ししてくるのんちゃん



雪遊びが楽しい！

家の周りにはいろんな動物や虫や鳥がいてはじめは驚くこともありましたが、そういったことも合わせて、自然がいっぱいでおもしろいです。少しずつ新しいことを覚えていくのも楽しみです。

マッケイン家の星子母さん

●山内自治振興区では、今後も皆様からの空き家情報・移住検討情報等をお待ちしております。

地域の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

地域マネージャー 藤田典久・寺西玉実

福祉知っ得情報

介護認定がなくても使える！福祉用具「電動ベッド」について

介護保険を利用されている方には、なじみのある「福祉用具のレンタル」ですが、介護保険の申請や認定をしていない方でも、便利な使い方があります。

昨年末、実家の父がバイクでバランスを崩して転倒し、背骨を圧迫骨折しました。

それまで自宅の和室に布団を敷いて寝ていましたが、痛みのため動くことや立ち上がりができない状態になりました。

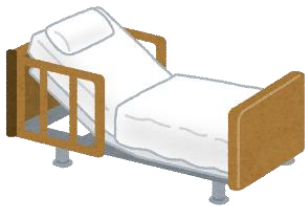
入院もできましたが、安静にしているしかないので、自宅で正月を過ごしてからの入院となりました。そこで、家族が使っていた簡易ベッドで寝ていましたが、マットレスも柔らかすぎて身体が沈みます。また、高さが低いため介助する母にも負担がありました。

そこで、介護保険を申請していない人でも使える「(自費による)電動ベッドのレンタル」を利用することにしました。自費によるレンタルなので、介護保険の認定の有無は関係ありません。認定はなくても、「自費ベッド」をレンタルすることができます。

今回、頼んだ福祉用具業者では、このような金額設定でレンタルができました。

電動ベッダー式：月1,900円

内訳・・・本体の電動ベッド（高さの調節、上体の上げ下げができるもの）



マットレス

レール2本（柵）

介助バー（立ち上がる時に利用する開閉可能な柵）

レンタルしたおかげで、母の介護負担も軽減し、父も起き上がりや立ち上がりが楽になったと喜んでいました。購入と異なり、必要がなくなった時には、本人の都合で返すことができるのもレンタルの強みです。一時的にお体の状態が変わって、起き上がりや介護に困られている時なども役立ちます。ベッド1つで、本人の体の動きや介護者の負担を軽くすることができます。

「今ほしい・・・」「少しでも使いたい・・・」をかなえる「自費レンタル」は、使い方によって、ご本人やご家族の大きな支えになります。種類や費用等を含めてお気軽にご相談ください。

相扶の郷居介護支援事業所 ケアマネジャー 奥田真夕子

1月環境パトロール隊



右から、
松村修治さん、
富田恵一さん、
児玉祥功さん



きれいにしてください、
ありがとうございます

2月環境パトロール隊



右から、
宗近久雄さん、
平世徹貴さん、
吉原孝文さん

◆香典返し

おくりもの

1/13～2/12

水越町 石原末夫様（故 フサコ様）

高茂町 本岡正寿様（故 綾子様）

ご芳志ありがとうございました。

ご趣旨を大切に地域の社会福祉増進及び地域振興の資金として、活用させていただきます。

山内地区社会福祉協議会



3月の予定

4日 男性料理教室

9日 ふれあい給食

20日 自治会長会

23日 ふれあい給食

※新型コロナウイルス感染防止の為、中止となることがあります。



「ふれあい給食会の配食サービスを利用しませんか？」



ふれあい給食は、在宅のひとり暮らし高齢者等に対し、食事の定期的な配食による安否確認等の見守り活動による孤独感の解消や地域からの孤立を防止することを目的とする事業です。

給食は月2回第2・第4火曜日（お盆・年末・祝日等は変更あり）に行っています。

利用対象者は、おおむね 70 歳以上の一人暮らしの高齢者・二人暮らしで食事の準備が困難等により必要と認められる方・障がい者世帯の方等がご利用いただけます。

お弁当をご希望の方は、お住いの自治会を担当している民生委員さんか、山内自治振興センター（TEL0824-74-0451）へお申し込みください。



庄原市役所ロビーで狼煙写真展が開催されました！！



昨年 11 月 23 日に行われた「のろしりレー」の写真展が、1 月 25 日から一週間、市役所ロビーで開催されました。

この度の「のろしりレー」写真展には北、高、庄原、峰田、敷信、東、山内の 7 つの自治振興区が参加しました。新型コロナの関係で、「のろし祭り」の際のアトラクションやバザーが中止となり、その分写真が少なく、例年より少しさみしい感じの写真展となりましたが、出品された写真は、どの自治振興区のものも素晴らしいものでいっぱいでした。

→ 山内自治振興センターに掲示していただきますので、お越しの際にはご覧ください。



『いざなみカード(な・み・か)』の申込みはお済みですか？



○申請期限

申請期限は令和 3 年 3 月 19 日(消印有効)です。期日を過ぎた場合には、10,000 円分のポイントを贈呈できません。お早めの申し込みをお願いします。

○申込用紙(緑色の封筒)をなくした場合

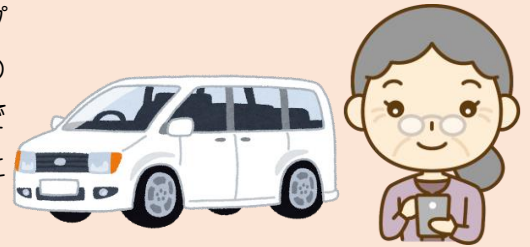
再度、お送りすることができます。庄原市役所 企画振興部 商工観光課 ☎0824-73-1178 までお問い合わせください。

おたがいさまネット 「生活交通について」

当地区で取り組んでいる「おたがいさまネット」事業は、過疎高齢化の中で、誰もが安心・安全に暮らせる「地域づくり」を目指しています。この事業は立ち上げから10年を迎えていますが、「一人暮らし高齢者等の見守りと災害時の避難支援」という基本目標を維持しながら、地域の暮らしに係わる様々な課題に向き合ってきました。

「生活交通」課題もそのひとつですが、市民タクシー制度の導入以後、新たな進展は図れていません。こうした中で昨年末、東・山内地区を対象に「予約型バスの運行実験」が行なわれ、その試乗体験を本誌164号(12月20日号)でも紹介しました。また2月2日付けの「中国新聞」には、これとほぼ同様の実験が広島市佐伯区において行なわれているとの報道もありました。

これらの運行実験に共通して云えることは、利用者が予約アプリを取り込んだスマートフォンで予約し、AI(人工知能)が運行の最適ルートを決定するなど、先進的な技術が使われていることです。途惑う面もありますが、同時に社会の変化を大いに感じるどころでもあります。利用者にとって利便性が増し、事業者にとって効率が上がる公共交通の実現に期待します。



山内地区においてはこの間、地域内での移動方法を課題としてきましたが、目的地を庄原市街地に限定せず、地域内に設定された乗降場所でも乗り降り出来るようにすれば、便利な乗り物になるのではないのでしょうか。実現に向けて今後検討される運行エリア、運行回数、車両台数、料金設定など、この運行実験の成り行きに注目したいと思います。

地域マネージャー 三上智道

ブランド米「里山の夢」がSDGsオンラインセミナーに参加します



令和3年3月2日、広島県中小企業団体中央会主催のSDGsセミナーが行われ里山の夢ファームが事例発表を行うこととなりました。内容は、「自社の経営理念やビジョンをSDGsの目標や理念を具体的に対応付けSDGsを志向したものとして再構築する」取り組みについてです。その会の講師には青山学院大学教授の玉木欣也氏も参加され、講習やご助言をいただきます。

↑2月5日、中小企業団体中央会(広島)と青山学院大学(東京)と山内自治振興区(庄原)の3か所でオンライン打ち合わせの様子

SDGsという言葉は最近よく耳にするようになりましたが、しかし一般的によく理解できているところまではいっていません。

SDGsは(Sustainable Development Goals)(持続可能な開発目標)の略で2015年の国連総会で193の国によって採択されたもので、17の目標と169のターゲットを定め2030年までに世界中の人や国が自由に平等で豊かな生活が送れるよう行動指針を定めたものです。里山の夢の米は竹粉を使った栽培でブランド米を販売しており、12番、13番、15番、17番などが該当し、また今後も里山の夢ファームは、SDGsの理念を目指していくということで発表することになりました。

17の目標

1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロに
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう
6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
8. 働き甲斐も経済成長も
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを
12. つくる責任 つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさを守ろう
16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナリシップで目標を達成しよう